

## 羽衣国際大学の「履歴書」「教育研究業績書」作成の手引き

### 1 「履歴書」「教育研究業績書」共通事項

- (1) 履歴書、教育研究業績集は、羽衣国際大学の様式を使用して作成してください。
- (2) 記入部分のフォント種類(原則として明朝体)とフォントサイズは変更しないでください。
- (3) 書類内に記入する年月日は、全て和暦で記入してください。
- (4) 学歴、職歴、各種業績に関する事項等は、全て時系列で記入してください。
- (5) 各項目について記載事項がない場合は、空欄とせず「特記事項なし」と記載してください。

### 2 履歴書

#### (1) 氏名の欄

印鑑登録証明書(印鑑登録証明書を有さない者については、旅券(パスポート)・マイナンバー(個人番号))と同じ氏名を記入してください。なお、旧姓等の通称名を使用している場合は( )書きで本名を併記してください。

(記載例：通称名が羽衣小百合、本名が田中小百合の場合・・・【羽衣(田中)小百合】)

#### (2) 生年月日(年齢)の欄

生年月日は和暦で、年齢は新年度4月1日時点の満年齢を記入してください。

#### (3) 国籍の欄

日本国籍の場合は「一」と記入してください。

#### (4) 現住所の欄

郵便番号と現住所を都道府県名から正確に記入してください(アパート、マンション等名含む。)

#### (5) メールアドレスの欄

連絡の取れるメールアドレスを記入してください。

#### (6) 学歴の欄

ア 大学若しくは高等専門学校又はこれらと同等以上と認められる学校卒業以上の学歴(大学の別科及び専攻科を含む。)を有する場合、すべての学歴(授与された学位及び称号を含む。)を入学年月も含めて和暦で記入し、それ以外の場合には、最終学歴を記入してください。なお、博士課程において所定の単位を取得し、博士の学位を授与されないまま退学した場合には、「博士課程単位取得後退学」と記入してください。

イ 学位については、付記された専攻分野の名称及び学位論文の題目を併記してください。

例：「工学修士」、「修士(工学)」、「工学士」、「学士(工学)」など

なお、平成3年7月以降に授与された学位は「学士(〇〇)」「修士(〇〇)」「博士(〇〇)」となります。「〇〇学士」「〇〇修士」「〇〇博士」とは、明確に区別してください。

ウ 医師、歯科医師、薬剤師、看護師、教員、管理栄養士、製菓衛生士等の資格についても記入してください。この場合、登録番号等も併記してください。外国における資格にあつては、正確に記入するとともに、その資格の内容を日本語で併記してください。

エ 学生としての外国の大学や研究機関等への留学歴についても記入してください。

オ 外国の大学等の経歴を記載する場合は、大学等の名称や学位等はアルファベットとカタカナを併記し、国名を必ず記載してください。職歴についても同様に扱ってください。

(7) 職歴の欄

ア すべての職歴(自営業、主婦、無職等を含む。)を和暦にて時系列で記入するとともに、職名、地位等についても明記してください。

イ 各職歴について在職期間を明確にし(行末のカッコ内に終了時の年月を和暦で記入)、現職については終了時の年月の代わりに(現在に至る)と記入してください。

ウ 研究者としての外国の大学や研究機関等への留学籍についても記入してください。

エ 大学教員の職歴については、主な担当授業科目を行末に併記してください。

例. 羽衣国際大学教授(現在に至る)「〇〇論」

オ 過去に文部科学省の大学設置・学校法人審議会において、教員審査や管理栄養士養成施設の現況調査(近畿厚生局)で教員審査を受け、教員の資格があると認められた場合は、当該審査の時期、大学の名称、職位及び担当授業科目の名称(大学院にあっては、判定結果を含む。)を記入してください。

(8) 学会及び社会における活動等の欄

ア 「現在所属している学会」には、書類提出時点において所属する学会の名称を記入してください。

イ 学会及び社会における活動等のうち、専攻や研究分野等に関連する事項を記入してください。

ウ 「事項」には、現在所属している学会と過去に所属していた学会のすべてについて、会員又は役職名を時系列に和暦で記入してください。また、現在委嘱を受けている委員会等と過去に委嘱を受けた委員会等のすべてについて、委員 又は役職名を記入してください。なお、いずれの事項も、在職期間を明確にし(行末のカッコ内に終了時の年月を和暦で記入)、現職については終了時の年月の代わりに「(現在に至る)」と記入してください。

エ 教育研究上の業績を有する場合、その内容を具体的に記入してください。

(9) 賞罰の欄

ア 公共機関、学会、出版社等からの表彰又は職務上の懲戒処分、研究費の不正受給に係る処分等を記入してください。

イ 賞罰・処分歴等欄には、過去に学生に対するセクシュアルハラスメントを含む性暴力等を原因として懲戒処分若しくは分限処分を受けた場合には、処分の内容及びその具体的な事由を必ず記入してください。

(10) 現在の職務の状況の欄

ア 「現在の職務の状況」の欄には、書類提出時点における職務の状況について記入してください。

イ 「職名」については、大学等の教員の場合は、『教授』『准教授』等の職位を記入してください。それ以外の職に従事している場合は、学科長、学部長、委員長名等の役職名、理事等の職名を記入してください。職名が無い場合は「―」を記入してください。

ウ 「学部又は所属局部の名称」の欄には、本学所属の場合は、現代社会学部、人間生活学部、共通教育開発センターと記入してください。

エ 勤務状況については、大学等の教員の場合は、担当授業科目を記入してください。それ以外の職に従事している場合は、職務の内容を簡潔に記入してください。

(用紙 日本産業規格 A 4 縦型)

# 教 員 個 人 調 書

## 履 歴 書

フリガナ		性別	生年月日 (年齢)	年 月 日 (満 歳)
氏 名				
国 籍		〒	現住所	
メールアドレス				

## 学 歴

年 月	事 項

## 職 歴

年 月	事 項

## 学 会 及 び 社 会 に お け る 活 動 等

現在所属している学会	日本〇〇学会、日本△△学会、・・・
年 月	事 項

賞		罰	
年 月	事 項		
年 月	なし		
現 在 の 職 務 の 状 況			
勤 務 先	職 名	学部等又は所属部局の名称	勤務状況
〇〇大学	教授	△△学部××学科	〇〇論、××演習、・・・
〇〇大学	教授	△△研究科××専攻修士課程	専門研究、〇〇論、××演習、・・・
〇〇大学	教授	△△研究科××専攻博士課程後期	専門研究(Dマル合)、〇〇論、××演習、・・・
開 設 後 の 職 務 の 状 況			
勤 務 先	職 名	学部等又は所属部局の名称	勤務状況
—	—	—	—
令和〇年〇月〇日			上記のとおり相違ありません。
			氏名 〇 〇 〇 〇

### 3 教育研究業績書

(1) この書類は、教育上の能力に関する事項、職務上の実績に関する事項及び主要な著書、学術論文等の業績について作成してください。

(2) 年月日欄について 書類提出日とします。

(3) 氏名の欄

印鑑登録証明書(印鑑登録証明書を有さない者については、旅券(パスポート)・マイナンバー(個人番号))と同じ氏名を記入してください。なお、旧姓等の通称名を使用している場合は( )書きで本名を併記してください。

(記載例：通称名が羽衣小百合、本名が田中小百合の場合・・・【羽衣(田中)小百合】)

(4) 研究分野及び研究内容のキーワードの欄

「研究分野」の欄には、科学研究費補助金応募の際に利用する「審査区分表」の小区分レベルの名称を用いて、研究分野の主なものを一つ以上三つ以内で記入してください。「研究内容のキーワード」の欄には、同表の小区分に付随する内容の例を参考に、研究内容を表すキーワードを一つ以上五つ以内で記入してください。なお、小区分レベルに該当がない場合は、表中のワードを参考に適宜記入してください。科学研究費補助金の「審査区分表」については、以下の学術振興会の日本Webページを参照してください。)

【審査区分表等 | 科学研究費助成事業(科研費) | 日本学術振興会 ([https://www.jsps.go.jp/j-grantsinaid/02\\_koubo/shinsakubun.html](https://www.jsps.go.jp/j-grantsinaid/02_koubo/shinsakubun.html)) 令和5年12月23日現在】

(5) 教育上の能力に関する事項及び職務上の実績に関する事項の欄

ア 「事項」の項には、各区分に該当する教育上の能力及び職務上の実績に関する事項を過去から現在まで簡潔に記入してください。

イ 「年月日」の項には、当該事項に係る実施時期、発表時期、従事期間等を和暦で記入してください。

ウ 「概要」の項には、当該事項に係る内容の概要のほか、当該活動における地位や役割、成果も記入してください。

- エ 「教育上の能力に関する事項」の例
- (ア) 「1 教育方法の実践例」について
- ※ 高等教育機関において授業科目を担当している教員が、学生の理解促進のために工夫を凝らした分かりやすい授業を実施しているかを記入。
- 例：優れた教育方法の実践、ICTを活用した授業実践、ICT教育環境整備の経験、学生の授業外(DX等)における学習促進の取り組み、講義内容のWebでの公開等。
- (イ) 「2 作成した教科書、教材」の例
- ※ 作成した教科書、教材、講義で教科書として使用している著書、教材等の概要。研究業績の「著書、学術論文」との重複も可とするが、その場合は、本項目の概要欄に(○頁「(番号と名称を記載)」を参照)と記すこと。
- (ウ) 「3 教育上の能力に関する大学等の評価」
- ※ 教育上の取り組みに対して大学から特に高い評価を受けた場合のみ記入。
- 例：採用決定の際等における評価内容、各大学における自己点検・評価での評価結果、学生による授業評価、教員による相互評価等の結果、上記以外で学長、学部長が行った評価。
- (エ) 「4 実務の経験を有する者についての特記事項」
- ※ 成果を上げた教育に関する取り組みを記入。
- 例：大学から受け入れた実習生等に対する指導歴(教育・管理栄養士臨地実習、企業実習等)、企業内教育、大学公開講座、社会教育講座の講師としての講義、シンポジウムにおける講演等の概要、所属機関や関係機関等において行った職員・関係者等に対する講義・講習・指導、海外等における留学、調査研究経験等
- (オ) 「5 その他」
- ※ 大学教育改善に関する団体等での活動の概要、教育実績に対する表彰等
- (6) 職務上の実績に関する事項の例
- 資格の証明書、雇用者や各種団体からの表彰・推薦文書等を必要に応じて添付してください。
- ア 「1 資格、免許」
- 医師、歯科医師、薬剤師、看護師、教員、管理栄養士、製菓衛生師等の資格
- イ 「2 特許等」
- 特許、実用新案等
- ウ 「3 実務の経験を有する者についての特記事項」
- 大学との共同研究、訴訟・審判・監査・与信・企業提携・研究開発等の担当実績、各種審議会・行政委員会・各種ADR等の委員、行政機関における調査官等、研究会・ワークショップ等での報告や症例発表、調査研究、留学、海外事情調査等
- これらを裏付ける報告書、手引書、マニュアル、雑誌等
- エ 「4 外部資金獲得実績」の例
- 科学研究費補助金、各種競争的資金等
- オ 「5 その他」
- 職能団体等からの実務家としての卓越性に関する評価・推薦等、論文の引用実績等
- (7) 研究業績等に関する事項の欄
- ア 「研究業績等に関する事項」
- 書類提出時において未発表のものは記入できません。ただし、未発行(未掲載)ではあるが、論文が採録決定済みであり、採録決定通知(写)を提出できる場合には、当該通知を添付した上で記入いただくことは可能です。
- イ 「著書、学術論文等の名称」

- (ア) 研究等に関連する主要な業績を、「(著書)」「(学術論文)」「(学会発表)」「(その他)」等の項目に適切に区分し、各業績を発表順に通し番号を付して記入してください。
- (イ) 著書については、書名を記入してください。
- (ウ) 学術論文については、国際学術雑誌、学会機関紙、研究報告、紀要等に学術論文として発表したものの題名を記入してください。学術論文は、原著論文(Original Article)、総説(Review)、症例報告(Case Report)の順に記載ください。査読付きの論文については、題名の後に「(査読付)」と記載してください。
- (エ) その他の項目には、論文(短報(Short Communication)、会議録(Proceeding)、学位論文(thesis)、紀要等に区分して記入してください。査読付きの論文については、題名の後に「(査読付)」と記載してください。その他については、当該テーマを記入してください。

ウ 「単著・共著」

当該著書等に記載された著作者が単独である場合には「単著」、著作者が複数いる場合には、監修、編集、編著、共著、部分執筆等の関わり方によらず「共著」と記入してください。(1冊の本を数人で執筆した場合は、当該部分が単著であっても、共著として記入してください。)

エ 「発行又は発表の年月」

当該著書等の発行又は発表の年月を和暦で記入してください。

オ 「発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称」の項

- (ア) 著書については、発行所を記入してください。
- (イ) 学術論文等については、発表雑誌等の名称、巻・号、掲載ページ等を明記してください。
- (ウ) 報告発表等の場合には、学会大会名、開催場所、発表者名等を明記してください。

カ 「概要」

- (ア) 当該著書等の概要を200字程度で記入してください。
- (イ) 当該著書等が共著の場合には、本人の担当部分の章、節、題名、掲載ページ(例：pp00～pp00)を記入するとともに、本人の氏名(下線を付すこと。)を含め著作者全員の氏名(多数にわたる場合は主要な共著者の氏名)を当該著書等に記載された順に記入してください。  
(例：編者△△△△、分担執筆○○○○、□□□□、羽衣小百合、××××)
- (ウ) 本人の担当部分の抽出に困難があるときは、その理由を記入してください。  
(例：「共同研究により担当部分抽出不可能」など)

別記様式第4号(その2の1)		
		(用紙 日本産業規格A4縦型)
<b>教 育 研 究 業 績 書</b>		
令和〇年〇月〇日		
氏名 羽衣小百合		
研 究 分 野	研 究 内 容 の キ ー ワ ー ド	
〇〇	△△、××、□□	
教 育 上 の 能 力 に 関 する 事 項		
事項	年月日	概 要
1 教育方法の実践例 1. 授業外学習におけるICTの促進	令和0年0月0日 ～現在に至る 令和0年0月0日 ～現在に至る	羽衣国際大学(常勤)の△△論において、×××を実施した。 国家試験対策の〇〇科目を中心にWeb上で×××を実施した。
2 作成した教科書、教材 1. 〇〇〇〇	令和0年0月0日	羽衣国際大学(常勤)の△△実習の教材を作成した。

3 教育上の能力に関する大学等の評価				
1. 授業アンケート		令和0年0月0日	授業アンケート(令和〇年度前期、後期)においては、科目群平均点よりも〇〇の部分で〇〇点と良い結果を得られていることから、授業内容として学生に受け入れられている。	
4 実務の経験を有する者についての特記事項				
1. 大学から受け入れた実習生等に対する指導歴		平成6年4月～平成23年3月	給食経営管理論及び臨床栄養学臨地実習の受け入れをし、指導者として対応した(〇〇大学、△△大学を含む〇校/年間受け入れ)。	
2. 大学の公開講座や社会教育講座における講師、シンポジウムにおける講演「〇〇〇〇」		令和0年0月0日	羽衣国際大学公開講座講師	
5 その他 特になし。				
職 務 上 の 実 績 に 関 する 事 項				
事項		年月日	概 要	
1 資格、免許				
1. 管理栄養士		昭和62年5月	管理栄養士登録番号第000号	
2 特許等 特になし。				
3 実務の経験を有する者についての特記事項				
1. 医療法人〇〇病院△△課長		平成6年4月1日～平成23年3月	〇〇課長として、栄養状態と褥瘡発生率について調査し、その結果を〇〇学会に発表した。	
4 その他				
1. 厚生労働科研費		令和0年0月0日	「〇〇〇」で厚生労働科研費(000万円)	
研 究 業 績 等 に 関 する 事 項				
著書、学術論文等の名称	単著・共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概 要
(著書)				
1. 〇〇〇〇	共著	平成0年0月	△△社	(200字程度で概要を記入)・・・。 編著：〇〇〇〇、△△△△ 共著者：〇〇〇〇、△△△△、羽衣小百合、××××、 担当部分：「〇〇〇〇」(pp00～pp00頁)
2. 〇〇〇〇	単著	平成0年0月	△△社	(200字程度で概要を記入)・・・。
(学術論文)				
1. 〇〇〇〇(修士論文)	単著	平成元年 3月	〇〇大学大学院	(200字程度で概要を記入)・・・。
2. 〇〇〇〇	共著	平成 3年10月	〇〇論叢第00巻第00号、日本〇〇学会	(200字程度で概要を記入)・・・。 編著：〇〇〇〇、△△△△ 共著者：〇〇〇〇、△△△△、羽衣小百合、×××× 担当部分：「〇〇〇〇」(pp00～pp00頁)
3. 〇〇〇〇(博士論文)	単著	令和 4年 3月	〇〇大学大学院	(200字程度で概要を記入)・・・。
4. 〇〇〇〇(査読付)	単著	令和 5年 3月	〇〇論叢第00巻第00号、日本〇〇学会	(200字程度で概要を記入)・・・。
(学会発表)				
1. 〇〇〇〇	—	平成0年0月	日本〇〇学会	(200字程度で概要を記入)・・・。 〇〇〇〇、△△△△、羽衣小百合、××××
(その他)				
1. 〇〇〇〇	共著	平成0年0月	日本〇〇学会	(200字程度で概要を記入)・・・。 共著者：〇〇〇〇、△△△△、羽衣小百合、×××× 担当部分：共同研究のため、担当部分抽出不可能